

みまっぱ通信

みまさかだいがく子育て情報

インフルエンザや風邪をひきやすい季節がやってきました。

風邪をひいては困ると、おうちの中で、たくさん重ね着させたり、靴下をはかせたりすると、逆効果です。お家の中では、おとなより1枚少なくして、裸足で遊びましょう。

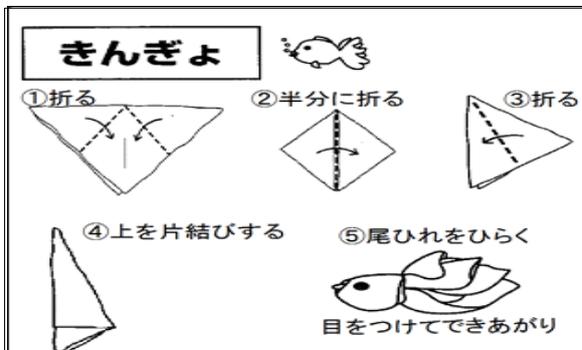
お子様の免疫力を高めて下さい。

**10月7日の親子で運動あそびは、67組
148人の方が参加して下さいました。**

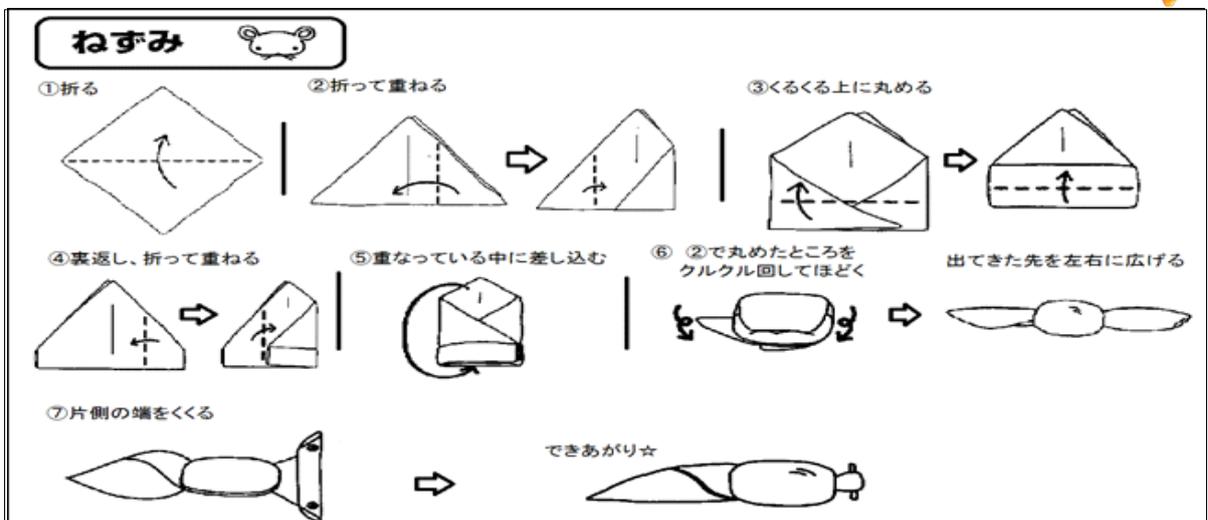




★★ハンカチあそび part2★★



11月4日の
“親子で運動あそび”で
作って遊びます
お家でも、
遊んで下さいね！



ちょっと一言

「ボクは赤ちゃんの中にいた」

子育ては、子どもの育ち（「子育て」）に立ち会うことでもあります。人は誰もが、「子育て」してきたはずなのですが、普段はそのことを意識したり、あらためて振り返ったりすることもないでしょう。そもそも、どんなふうに育ってきたのか、自分ではわからないものです。

4歳ぐらいの子どもが乳児を見て、「ボクが赤ちゃんの時、ボクはどこにいたの？」「どうしても思い出せない・・・」と不思議がっていたことがあります。答えに困っていると、本人がしばらく考えてから、「わかった！ボクは赤ちゃんの中にいたんだ！」と、悟ったように言いました。あたりまえのことですが、人は自分のことを自分の外に出て見つめることはできませんし、自分の育ってきた一つひとつの場面を、その時点に立ち返って捉えることは不可能です。この4歳児の”悟り”は、そのことを感覚的に、しかも的確にあらわしているのかもしれない。

子どもは大人が理解出来ないようなことにこだわったり、すんなりと言うことを聞いてくれなかったりします。急いでいたり、疲れていたりしなくても、「どうしてそんなことするの！？」とイライラしたり、「どうしてわからないの！？」ともどかしく感じてしまうこともあります。しかし子どもは、育ちのただ中で、大人とは違った独特の世界が展開されていて、その世界のリアルな現実の中で生きている。だから、子どもにとっては、一つひとつの行動の中に大切な意味があります。大人はそれをすっかり通り越した地点から、一応出来上がってしまった大人のモノサシで見るため、子どもの行動が理解しがたいと悩んだり、言うことを聞いてくれないともどかしく思ったりするのでしょう。

子育ては、育っていく子どもの姿を通して、「私が子どもの中にいた時」を体験するチャンスです。子どもといっしょに、「私もこんなことしていたのかあ」と、子ども時代をもう一度楽しんでみてはいかがでしょうか。

ふれあいあそび & 絵本

11月4日の“親子で運動あそび”のふれあいあそびでは「どんぐりころちゃん」をします。絵本もとってもほっこり！

お子さんと一緒に絵本を読んで、

ふれあって、とてもほっこり、ほっこり!!



みまさか子育てカレッジ イベント紹介



イベント日程のご案内 (親子で運動あそび)

- ◇ 1. 日 時 平成28年11月6日(日) 10:00~11:30
※受付は 9:30~ です
- ◇ 2. 場 所 美作大学体育館
※はだして遊びます
- ◇ 3. 講 師 美作大学短期大学部幼児教育学科 松坂仁美教授 及び学生さん
- ◇ 4. お問合せ JAつやま 推進企画課 (0868) 22-8106

美作大学短期大学部幼児教育学科
イルミネーション点灯式
日時：平成28年11月30日(水)
午後5時40分～
(雨天時：12月1日)
場所：美作大学 正面玄関前



(発行 みまさか子育てカレッジ実行委員会)

